

心をつたえたい

副会長 弘部 健次

小川村には今も尚「藤樹の教え」が息づいている気がします。琵琶湖畔の小さなこの村に生まれた人間与右衛門さんは、今こそ私たちに何を語ろうとしているのでしょうか。

近年、不登校やいじめ、フリーターからニートへ、切れたり授業崩壊、果ては自殺や家族まで殺してしまっています。こども達の多くが生き方に戸惑いながら成人していきます。

先頃、映画「中江藤樹」シナリオを読んだ市内中学生から読後の率直な感想が寄せられました。「感動した。」「ずるい自分を反省せなあかんと思っただ。」とか、真面目に「心の鏡を磨こう。」「嘘をついている自分を反省した。」「五事を正す生き方をしたい。」など、その素直な感想を読んで、彼らが藤樹先生の教えをシナリオからの確に学んでいることに感激しました。

藤樹の教えを地域にどのように生かせるかは、高島藤樹会の唯一無二の目標です。地域や市民、年令を問わず、全ての人が先生の教えや生き様から多くを学ぶことは大切です。とりわけ青少年、とくに若年のこども達には「与右衛門の生き方と心」を知って欲しいとかんがえています。かく言う私、実は難しい教えはまだまだ理解できていません。でも最近ようやく彼がどのよう生きてきたかが少し見えてきた気がします。

人間藤樹、その心を四百年経った今

こそ、多くの人々に伝えたいと願っています。

藤樹生誕400年事業を 皆さんの力で盛り上げたい

北川 暢子

二〇〇五年秋から取り組んできた準備委員会の事業は、新年度から実行委員会へバトンを渡します。

これまでの取り組みは、中江藤樹の学徳や教えをさまざまな事業として展開する骨子を考え、一方では高島地域から県外各地への広め方を考えて、一歩ずつ進めて参りました。

幼児・児童・生徒向き学習資料として二巻の紙芝居発刊、映画「中江藤樹」のシナリオ発刊と感想文募集をしました。またこれまで高島市民に募集を呼びかけていた八月の「心のセミナー」は、全国に情報発信し、南は沖縄から北は福島まで百名の参加を得ることができました。中江藤樹の映画は三月に大阪公会堂で上映しました。事業の度に使うロゴマーク募集では温かみのある優れた作品が多く集まりました。三月には「五事を正す」の啓発掲示物が各戸配布されましたし、行事ごとに使うのぼり旗も完成しました。

新年度からは、これまで以上に市民のどなたもが、参加していただけるような事業が展開される予定です。先生の遺徳を学び、人と人との繋がりを大切にした活動で400年記念事業が盛り上がるよう、皆さまの積極的な参加をお願いします。

事業報告

☆平成十八年六月三日（土）、アイリッシュパークにおいて「平成十八年度総会」を開催。三田村治夫教育次長の祝辞のあと、全部で九項目の議案を審議し、すべて原案どおり承認。総会終了後、松本義徳先生没後三十年記念講演会が行われ、講師に村田昇先生（滋賀大学名誉教授）をむかえて、「今日求められる教師力とは」藤樹精神に生きた松本義徳先生を偲んで」の講演が行われた。

☆八月二十六日（土）、二十七日（日）の両日、「中江藤樹・心のセミナー」が安曇川ふれあいセンターにて開催。第一講「伝習録の魅力」（吉田公平・東洋大学教授）、第二講「孝経のこころ」（伊與田覚・論語普及会学監）、第三講「論語と多久のまち」（横尾俊彦・多久市長）、第四講「鑑草のこころ」（中江彰・記念館長）、第五講「都鄙問答のこころ」（寺田一清・不尽叢書刊行会代表）、第六講「現地研修。北は福島県、南は沖縄県まで、百名を越える参加者を得た。

☆十月二十七日（金）、二十八日（土）の両日、岡山県内の陽明学ゆかりの地をたずねての研修旅行を実施。初日は山田方谷の高梁市備中松山城を、翌日は備前市閑谷学校の釈菜に参列する。

☆新規事業として、藤樹先生に親しむ「巡回講座」を五会場で開催する。講師は、本会理事の萬木甚一良氏。十

一月〓今津、十二月〓新旭、一月〓朽木、二月〓高島、三月〓マキノ。
☆教材委員会は、前年度に引き続き「紙芝居」シリーズの制作事業を精力的に推進する。

☆本日は、第二回「藤樹賞」贈呈式。今回の受賞者は、株式会社致知出版社（東京都港区）に決定する。受賞記念講演は、「出逢いの人間学」と題して同社社長藤尾秀昭氏が行われる予定。

☆現在、高島市が進めている中江藤樹生誕400年記念の諸事業に、本会からも積極的に参加する。

本年度の賛助会員は次のとおりです。

〇ニッケイ工業株式会社様（安曇川）
〇奥谷隆信様（安曇川）

第1回「藤樹賞」を受賞した矢田監督

第1回「藤樹賞」受賞者に、原田龍二主演映画「近江聖人中江藤樹」を監督された矢田清巳さん（57）＝京都市在住＝に決まり、平成18年1月28日、安曇川ふれあいセンターで贈呈式が行われました。式典のあと、出席者約200名を前に「楽しい映画づくり」と題して記念講演をしました。

